

【参考資料4】 施策メニューの重点化の検討について

第1回推進委員会結果や「移動しやすいまちづくり条例」や市政世論調査結果、市の課題を関係課で協議を行い、4本柱の重み付け、施策メニューの今後の取り組み方針を検討した。

●公共交通及び自転車で移動しやすく快適に歩けるまちづくり条例

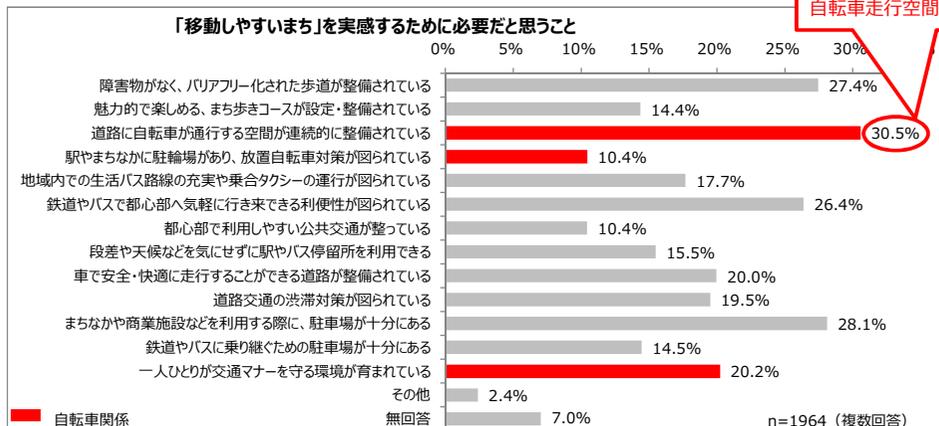
●関係課会議での検討結果

	はしる ～走行空間計画～	とめる ～駐輪計画～	しくみ ～放置自転車対策	まもる ～啓発活動計画	
第1回推進委員会意見	○自転車走行空間整備に関する意見 (57件)	○まちなかの駐輪場整備や盗難されにくい駐輪場整備に関する意見 (6件)	○放置自転車対策に関する意見 (1件)	○自転車ルールの啓発に関する意見 (25件) ○レンタサイクルに関する意見 (3件)	
「新潟市公共交通及び自転車で移動しやすく快適に歩けるまちづくり条例」	○自転車走行空間の整備 ○歩行環境の整備	○利用者ニーズを踏まえた駐輪場整備		○自転車ルールの啓発 ○自転車利用の推進 ○市街地でのレンタサイクルの拡充 ○エコ通勤の推進	
第40回 (平成25年度) 新潟市「市政世論調査」	○「移動しやすいまち」を実感するためには、自転車走行空間整備が重要 ○「はしる」は満足度が低く、不満の割合が最も高い	○「とめる」「しくみ」については、放置自転車に対する問題が都心部のみであると考えられ満足、不満の割合は他と比べ低い		○「まもる」は満足度が最も低く、不満の割合も高い	
関係課会議での検討結果	4本柱の重み付け	「移動しやすいまち」を実感していただくため、満足度向上のため、他の柱より重点を置き取り組むことを基本とする。	「はしる」「まもる」に続いて取り組むことを基本とする。	「まもる」に続いて取り組むことを基本とする。満足度向上のため、「はしる」の次に重点的に取り組むことを基本とする。	
	施策メニュー今後の方針	関係課会議において、推進委員会での意見や条例、市政世論調査結果、市の課題等を踏まえ、下記事項に該当する施策メニューについて、最重点、重点、その他と位置付ける。			
	最重点 最も重点的に取り組む項目	①ネットワーク路線の自転車走行空間の確保	④まちなかの駐輪場整備	①放置禁止区域の拡大	②交通安全教室の開催 ③街頭での直接指導
	重点 最重点項目の次に重点的に取り組む項目	②ネットワーク路線以外の新築・改築路線の自転車走行空間の確保	②新潟駅周辺の駐輪場整備	②撤去の強化 ⑥撤去自転車のリサイクルの推進	①注意喚起看板等の設置 ⑤レンタサイクル ⑥チラシやHP等による情報発信
その他 継続的に取り組む、または必要に応じて検討する項目	-	○上記以外	○上記以外	○上記以外	

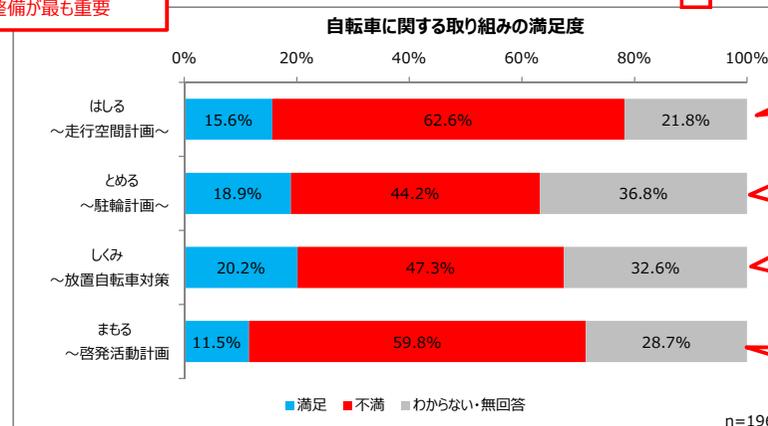


自転車に関する記載を整理

●第40回 (平成25年度) 新潟市「市政世論調査」



「移動しやすいまち」を実感するためには、自転車走行空間の整備が最も重要



「はしる」は満足度が低く、不満の割合が最も高い

「とめる」「しくみ」については、放置自転車に対する問題が都心部のみであると考えられ満足、不満の割合は他と比べ低い

「まもる」は満足度が最も低く、不満の割合も高い